

## 令和 3 年度 卒業証書授与式 答辞

肌寒い風が吹きつつも、暖かい日差しが私たちを照らす、今日。私たち卒業生のためにこのような晴れやかな卒業証書授与式を挙げていただき、心より感謝申し上げます。

思い起こせば3年前、期待と不安に胸を膨らませて入学した私たちは、先生方から多くのことを指導していただきました。そして高校生活のたくさんの思い出が今、鮮明によみがえってきます。

1年生。最初は新しい環境に慣れず、みんなの間には距離がありました。しかし、日を追うごとに学校生活に慣れ、みんなの仲も深まり、打ち解けていきました。1年生としての1年間、体育祭や文化祭、球技大会などの学校行事は初めて尽くしで、とても新鮮な気持ちで過ごしていました。

校外学習では大津に行きました。みんなで滋賀短期大学に行き大学の雰囲気を味わい、その後、工場見学に行き、働くことや企業の工夫や努力などを学びました。

2年生。世界中で新型コロナウイルスが大流行し、学校も五月末まで休業が続いた、思いがけない1年の始まりとなりました。新しい学びのスタイルとして、ICT機器を活用したりリモート授業やチームズなどの活用が始まりました。操作に戸惑いながらも、新しい風が吹くのを感じました。8月まで食い込んだ1学期。10日間ほどの夏休みを挟んで8月後半から始まった2学期。酷暑の中でしたが、教室に設置されたばかりのエアコンと給水器の飲み物のおかげで、乗り越えることができました。

感染状況が改善しない中、このままでは体育祭も文化祭もどちらもできないと思っていました。しかし、生徒会のみなさんの努力で体育祭と文化祭を合体させた学園祭を実施することができました。例年とは違い、多くの制約がある厳しい状況の中での学園祭でしたが、クラスで団結し、やり遂げることができたのは本当に良かったと思います。しかし、楽しみにしていた2学期末の修学旅行は、感染拡大防止のため、中止となってしまいました。

3年生、新年度を迎えても、感染状況は改善しませんでした。体育祭の実施について生徒

会の仲間と知恵を出し合いました。今年も例年通りとは行かないながらも、単独の行事として実施できてよかったです。団活動では、縦割りの学年ミックスの中で、団アピールやバックデコ、衣装や応援旗などで、まとめ役として活動し、人とのつながりの難しさや楽しさをあらためて実感できる活動でした。

2学期が始まり、進路を決定する時期がきました。未知の世界への挑戦で、とても不安でしたが、先生方の指導の下、希望する進路を手にすることができました。

十一月、高校生活最後の文化祭も縮小した内容でした。例年のように模擬店などは実施できませんでしたが、その分、舞台発表に全力で取り組みました。

十二月、2学期の期末考査が終わってから、学年旅行でU S Jに行きました。広い施設内をあちこち散策して、疲れましたが、学年の友達と過ごせた1日は、とてもよい思い出になりました。

部活動では、陶芸部が全国大会に進む活躍をされました。さらに男子バレーボール部の活躍には驚きました。県内の強豪校を相手にベスト4まで勝ちあがり、近畿大会出場や、国体選手選出などの結果を残されました。小規模の学校で団体競技が成立することすら難しいのに、単独校のチームとして活動し、輝かしい成果をあげられました。そんなチームの主力になった選手がクラスメイトにいる事を誇りに思います。

こうして振り返ると、3年生の1年間が最も心に残っています。当たり前だと思っていた毎日を大切にするようになりました。卒業をして教室でもうみんなと笑い合うことができないと思うと、寂しい気持ちはありますが、私たちは信楽高校で学んだことやかけがえのない仲間を忘れずに、これから社会人になってからも強く生きていきたいと思います。私たちにとってこの3年間は、一言で言い表すことができないほどとても有意義な時間になりました。

高校生活の三年間で、私たちは様々なことを学びました。

僕たちを支えてくださった先生方。一人ひとりの自主性を尊重して見守っていただき、悩

んだ時には的確なアドバイスで私たちを導いてくださいました。時には厳しく指導していただき、学習面だけでなく精神面でも大きく成長することができました。また毎日の授業だけでなく進路相談にも丁寧に対応してくださいました。繰り返しご指導いただいた面接練習、おかげで自信を持って試験にのぞむことができました。

未熟だった私たちがここまで成長できたのも先生方の熱心なご指導のおかげです。ありがとうございました。

そして、お父さん、お母さん。毎日学校に送り出してくれてありがとう。僕たちが楽しい学校生活を送れるように陰ながら支えてくれてありがとう。叱られたときは反抗してしまうこともあったけど、それでもやさしく見守ってくれてありがとう。

これから私たちは社会人として社会に羽ばたいていきます。まだまだ未熟な私たちですが、これから少しずつ恩返しできるように頑張ります。この後も暖かく見守ってください。

先生方、同級生との別れは辛くはありますが、信楽高校の卒業生として恥ずかしくない未来へ向けて精一杯、羽ばたきます。どうかこれからも変わらぬご指導賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、信楽高校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれることをお祈りして、答辞とさせていただきます。

令和4年3月1日

卒業生代表 納所 蓮